

IV- (9) 2023年度 事業報告

2023年度事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

- ①法人の名称 学校法人 SBC東京医療大学
②主たる事務所の住所 千葉県浦安市明海五丁目8番1号
電話番号 047-382-2111
FAX番号 047-382-2017
ホームページアドレス <https://www.sbctmu.ac.jp/>

(2) 大学理念

本学は、保健医療に関する専門分野における知識と学術を教授研究するとともに、
人間の本質を探究することにより、総合的な教養をみにつけた
高度で資質の高い医療専門職の人材を育成し、もって我が国の保健医療の向上
と福祉の増進に寄与することを目的とする。

(3) 学校法人の沿革

- 2005年12月 学校法人了徳寺大学設立
了徳寺大学設置
- 2006年4月 了徳寺大学開学。日本文化芸術学部日本文化芸術学科を設置
健康科学部理学療法学科を設置
- 2007年4月 日本文化芸術学部日本文化芸術学科を芸術学部美術学科に校名変更
- 健康科学部に整復医療・トレーナー学科を設置
- 2009年10月 了徳寺大学スポーツパーク開設
- 2011年4月 芸術学部美術学科の学生募集停止
健康科学部に看護学科を設置
- 2015年4月 健康科学部整復医療・トレーナー学科と看護学科の入学定員変更
整復医療・トレーナー学科（80人→60人）看護学科（80人→100人）
- 2016年3月 了徳寺大学スポーツパーク閉鎖
- 2016年10月 了徳寺大学附属船堀整形外科を設置
- 2018年4月 了徳寺大学附属上青木整形外科を設置
- 2019年4月 了徳寺大学附属新小岩整形外科を設置
- 2019年5月 了徳寺大学職員柔道専門部を設置
- 2024年4月 SBC東京医療大学に校名変更

(4) 設置する学校・学部・学科等

SBC東京医療大学 健康科学部
理学療法学科
整復医療・トレーナー学科
看護学科

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(2024年5月1日現在)

学 科 名	入学定員	収容定員	入学者数	1年	2年	3年	4年	合計
理学療法	80名	320名	92名	93名	79名	91名	89名	352名
整復医療・トレーナー	60名	240名	74名	74名	64名	79名	66名	283名
看護	100名	400名	104名	110名	94名	84名	108名	396名
合 計	240名	960名	285名	285名	286名	278名	271名	1027名

(6) 収容定員充足率

(2024年5月1日現在)

学 部	学科名	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康科学部	理学療法学科	在籍学生数	363	382	372	358
		収容定員	320	320	320	320
		収容定員充足率	113%	119%	116%	112%
	整復医療・トレーナー学科	在籍学生数	303	303	302	285
		収容定員	240	240	240	240
		収容定員充足率	126%	126%	126%	119%
	看護学科	在籍学生数	446	435	410	395
		収容定員	400	400	400	400
		収容定員充足率	112%	109%	103%	99%
学 部 合 計	在籍学生数	1,140	1120	1084	1038	
	収容定員	960	960	960	960	
	収容定員充足率	119%	117%	113%	1.08%	

(7) 役員の概要

定員数 理事5～7、監事2～3

役員名	氏名	就任年月日	勤務	主な現職
理事長	相川 佳之	2023. 1. 11	常勤	SBCメディカルグループ代表 (学)SBC東京医療大学 理事長
理事	山之口美喜生	2020. 4. 1	常勤	(学)SBC東京医療大学 教授・学長

理事	高戸 毅	2023. 1. 1	常勤	JR東京総合病院病院長
理事	服部 浩行	2023. 1. 1	常勤	スカイネットアカデミー株式会社代表取締役社長
理事	櫛谷 泰輔	2023. 1. 1	常勤	ネスグローバル株式会社代表取締役社長
理事	島田 直樹	2021. 12. 5	非常勤	佐野総合法律事務所 弁護士
理事	瀬出井 亮	2021. 6. 1	非常勤	株式会社シーオーメディカル 代表取締役
監事	大木 邦彦	2005. 12. 5	非常勤	(有)ベルファーマシー 勤務
監事	梅澤 博明	2016. 6. 1	非常勤	司法書士

(8) 評議員の概要

定員数 評議員11～15

役員	氏名	就任年月日	主な現職
評議員	相川 佳之	2023. 3. 6	SBCメディカルグループ代表 (学)SBC東京医療大学 理事長
評議員	山之口 美喜生	2020. 4. 1	(学)SBC東京医療大学 教授・学長
評議員	高戸 毅	2023. 3. 6	JR東京総合病院病院長
評議員	服部 浩行	2023. 3. 6	スカイネットアカデミー株式会社 代表取締役社長
評議員	櫛谷 泰輔	2023. 1. 1	ネスグローバル株式会社代表取締役 社長
評議員	島田 直樹	2021. 12. 5	佐野総合法律事務所 弁護士
評議員	瀬出井 亮	2023. 6. 1	株式会社シーオーメディカル 代 表取締役
評議員	今井 優子	2016. 6. 1	SBC東京医療大学 事務職員
評議員	加納 正基	2022. 5. 24	SBC東京医療大学 事務局長
評議員	兎澤 良輔	2015. 8. 18	SBC東京医療大学 講師
評議員	石丸 圭荘	2017. 12. 5	SBC東京医療大学 教授
評議員	金丸 雄介	2019. 12. 5	SBC東京医療大学 教授
評議員	青木仁志	2023. 3. 6	アチーブメント株式会社代表取締 役会長 兼 社長
評議員	山田 眞幹	2023. 3. 6	マサスポーツシステム有限会社代 表取締役

(9) 教職員の概要

区分	大学	平均年齢
専任教員数	80	51.7

専任職員数	43	48.8
-------	----	------

(10) その他（系列校等）

該当なし

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

・卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

SBC東京医療大学健康科学部は、次の能力・態度を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。
2. 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。
3. 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。
4. 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。
5. 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。
6. 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

了 SBC東京医療大学健康科学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力・態度を身につけるため、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 豊かな感性を持った医療人としての人間性を磨くための教養教育科目を、三年次まで配置したカリキュラムとする。
2. 健康レベルに応じた的確な医療を実践することを可能とするため、基礎・臨床医学科目、専門基礎科目を系統的に配し、専門職医療人としての基礎力を確実なものとするカリキュラムとする。
3. 高度な専門職医療人となるための専門科目を、低学年の講義から高学年の実習に至るまで全学年に効果的に配置する。
4. カリキュラムを構成する各科目の授業には、シラバスに明示したそれぞれの目標を達成するために最も適した、講義、演習、実習などの授業形態を取り入れている。
5. 学修の評価方法はシラバスに明示し、定期試験、レポート、小テスト、実習評価等からそれぞれの科目の修得目標に応じた適切な方法で評価する。

・入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに示した人材を育てることを目標にしている。その目標を達成するために、学力の三要素を含めた次のような学生を求める。

1. 感性が豊かで多様性を尊重し、他者とコミュニケーションをとることができる人。

2. 入学後の医療人となるための学習に必要な知識、思考力などの基礎学力を有し、主体性を持って学ぼうとする意欲のある人。
3. 医療の分野に興味を持ち、貢献したいという意欲を持っている人。
4. 向上心を持ち、継続的に自己を高める努力ができる人。

入学者選抜のために、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜等、多様な方式を採用している。選抜のための評価には、書類審査（調査書、推薦書等）、学力試験、面接等を組み合わせて総合的に評価している。

○事業計画の進捗・達成状況

2023年1月11日をもって理事長が了徳寺健二氏より現理事長である相川佳之に交代となり、2024年4月1日をもって法人・大学名共に「学校法人SBC東京医療大学」へと変更した。

上記に伴い、2024年度より学納金の見直しを行い、医療従事者を目指す若者を広く受け入れることを目的とし、授業料の値下げを行った。

併せて、新たな中長期計画として「授業の質向上、充実した学生生活の提供」を策定し、国家試験合格率100%、現役卒業率の向上を具体的な目標として、自己点検評価活動、FD活動、委員会活動に取り組んでいる。

これらは2026年度実施予定の認証評価と併せて本年度も行っていく所存である。

○財務の概要・決算の概要

収支ならびに決算については下記「2023年度 決算報告/監事監査報告書」ならびに「事業活動収支計算書」を参照されたい。

「2023年度 決算報告/監事監査報告書」

<https://www.sbctmu.ac.jp/assets/about/pdf/info4-1-10.pdf>

「事業活動収支計算書」

<https://www.sbctmu.ac.jp/assets/about/pdf/info4-1-11.pdf>

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

① 経営状況の分析

看護学科の新設以来4年以上経過し、全学年に学生が在籍するに至り、安定した経営体制に移行することが実現されている。収入の90%以上を占める学生生徒等納付金についても安定した収入計上が達成されている。人件費比率も50パーセント前後で推移している。教育関係支出は充実させ、管理関係支出は効率化するという経営方針のもとさらなる人材充実に努めているところである。総負債比率についても平成27年の資産流動化による財務構造改善により20%台を堅持しており、健全な経営が維持されている。収益事業からの繰入収入も順調に増加しているところであり、大学の教育活動に大いに貢献している。

②経営上の成果と課題

新学科創設、財務構造の変革、収益事業の開始と様々な経営変革の結果、経営状況は大変良好である。

③今後の方針

引続き現在の経営を継続し、収益事業のさらなる強化にも努める。

④対応方策

国家試験の対応等にかかる指導の強化にも努め、定員充足率100%を堅持する。